



## EVENT

京都府 京都市

4/10 日

### ハピネスまちライブラリーと ライブラリーを楽しもう！

磯井純充講演会「まちライブラリーってなに？」

京都市八条住宅集会所14:00～15:30(13:30開場)

京都市唐橋エリアのまちライブラリーの皆さんのイベントで磯井純充が講演します。講演会の様子は、youtube liveにてライブ配信予定。

主催/NPO法人happiness

## BOOK

### 「まちライブラリーのたまたまばこ」

砂生絵里奈(著)・フルタハナコ(絵) 2/14発売 郵研社

つるがしまどこでもまちライブラリー6年のあゆみが本になりました。まちライブラリーの始まりや広がり、地域との関わりが綴られており、運営のヒントがいっぱいです。まちライブラリーのことが見え、わかるイラスト図解は、説明に便利です。皆さんのまちライブラリーにも、ぜひ1冊いかがでしょうか！(著者より)



## New! まちライブラリーの紹介

NO. 861 (神奈川県 真鶴町)

### まちライブラリー@真鶴

個人の蔵書を少しずつ公開していきたいと思っています。本格オープンに先駆け、珈琲豆店「watermark」でも小規模で展開しています。気軽に立ち寄れる場所を目指します。

• Twitter: @ywatanabe26

• オーナー：渡辺泰

NO. 876 (山形県 鶴岡市)

### nanairo まちライブラリー

就労継続支援B型施設のカフェに併設されたまちライブラリーです。1月にオープンしたばかりで本格稼働はこれからですが、地域の皆さんと一緒にnanairoに交じりあいがら、本を通じて楽しめる場所にしていきたいと思っています。

• Instagram:

[https://www.instagram.com/nanairo\\_n\\_sketch/](https://www.instagram.com/nanairo_n_sketch/)

• オーナー：株式会社N-SKETCH

NO. 878 (兵庫県 神戸市)

### ブックカフェウルム

Book &amp; Cafe ULM(ウルム)は、「出会う」を大切にできる場所です。ひとりで想いを巡らしアイデアと出会う。たくさんの本を読み未知に出会う。みんなや仲間が集まり創造と出会う。出会いからあなたの世界は広がります。

• Web: <https://bookcafe-ulm.jp/>

• オーナー：濱田義行

NO. 879 (山形県 米沢市)

### くろす家かふえのかたよりまちライブラリー

静かな空間にナチュラル、オーガニック、農、野草、工芸、織、染、差と差別。搾取の本が少しあります。かたよっていませんが、のんびりしたくなったらふらりと珈琲を飲みにお立ち寄りください。できたらご予約を。

• Facebook: <https://www.facebook.com/crosskafa>

• オーナー：黒須敬子

NO. 880 (富山県 南砺市)

### あそびば シェア本棚

「あそびば シェア本棚」は、住民主体のにぎわい創出に向け、市民センターの空きスペースで開始した社会実験です。令和2年9月23日本棚オーナー20名を超え、蔵書も1,000冊を超えました。ぜひお気軽にお立ち寄りください！

• Facebook: あそびば

• オーナー：あそびば

NO. 882 (大阪府 大阪市)

### まちライブラリー @ながやR

「おうちみたいに楽しむ公園時間」をテーマに、公園を自由な発想で柔軟に使いこなす取り組みを行っています。日にち限定でまちライブラリーを開館していきたいと思っています。公園でのんびり読書を楽しみましょう!!

• Web: <http://www.nagayar.com/>• Facebook: <https://www.facebook.com/nagayar.org>

• オーナー：株式会社ながやR

NO. 883 (静岡県 御殿場市)

### まちライブラリー@カントリー

小さな喫茶店で、本を通し穏やかな時と人が緩やかにつながることを願っています。

• オーナー：稲葉世志子



NO. 884 (東京都 渋谷区)

### まちライブラリー@アトリア参宮橋

地域の循環を目指したカフェ併設のまちライブラリーです。専門家クルーによる選書は、自分のあり方を見つめ、俯瞰し、デザインできる本が揃っています。

• Web: <http://atlya-co.com/>• Facebook: <https://www.facebook.com/Atlya>

• オーナー：You be You株式会社 井尾佐和子

NO. 885 (長野県 軽井沢町)

### 日々の本棚

レイクニュータウンという別荘地内にあるカフェです。「一日一日を積み重ねていくこと」の中で、本を通じて様々な方が出会い、繋がる場をつくりたいと思います。

• Instagram: [https://www.instagram.com/hibi\\_books/](https://www.instagram.com/hibi_books/)

• オーナー：山本裕介

NO. 887 (福島県 相馬市)

### まちライブラリー@さとばたけ伝習館

東日本大震災で被災した福島県浜通り地域、旧相馬中村藩領内の「さとばたけハウス」にできた親子が気軽に集まれるコーナー。絵本やこども論語、地域歴史書もあります。

• Web: <https://satobatake.fc2.net>• Facebook: <https://www.facebook.com/satobatake>

• オーナー：NPO法人市民活動ネットワーク相馬

NO. 889 (東京都 北区)

### まちライブラリー@JimoKids石蔵秘密基地

地域の居場所づくり活動拠点です。子どもと大人にまつわる本を地元の皆さんと共有し、気軽に立ち寄ってもらえるライブラリーを目指しています。

• Web: <https://jimokids.com/library/>• Facebook: <https://www.facebook.com/libraryJimoKids>

• オーナー：畑川麻紀子

NO. 890 (大阪府 大阪市淀川区)

### 託児所comoriまちライブラリーすばことしょかん

託児やイベントでご利用の方に気軽に絵本を借りていただけるように、すばことしょかんを開設しました。子育て関連の本も置いてあります。気軽にお立ち寄りください。

• Instagram:

[https://www.instagram.com/comori.natural\\_sitter/](https://www.instagram.com/comori.natural_sitter/)• Facebook: <https://www.facebook.com/hitomi.yasui1>

• オーナー：濱谷仁美

## 「ワークラボ八ヶ岳」の挑戦 ～新たなコモンズを目指して～



まちライブラリーに関する情報はこちらから  
<https://machi-library.org/>

**今**年の冬は各地で厳しい寒さとなり、雪が多い地域ではご苦労された方もたくさんおられたと思います。芽吹きの季節が楽しみですですが、まちライブラリーにとっても節目の春になりそうです。

長野県茅野市では、昨秋「まちライブラリーブックフェスタ2021」が実施されたのを機会に市民や行政の方にまちライブラリーを多少とも認知していただけるようになり、これがきっかけとなって、2022年4月から駅前商業施設「ベルビア」にあるコワーキングスペース「ワークラボ八ヶ岳」の運営をまちライブラリーが担当することになりました。合わせてその隣接区画にもまちライブラリーを拡大することになりました。コワーキング本来の意義である、より広く市民と協働できる環境をつくり、新たなビジネスや社会活動に挑戦できる場づくりに役立つと考えたためです。

「ワークラボ八ヶ岳」は、茅野市の公共的な活動ですが、まちライブラリーは市民の方々と協働で設置、運営していこうと考えています。本棚も地元の株式会社イメージさんのご協力を得て材木を切り出してもらい、ボランティアの方々と一緒に組み立てる予定です。また、昨年春に神戸の大学生を支援してつくった「まちライブラリー@神戸空港」の本棚や蔵書も移送して再

利用し、大阪や東京のまちライブラリーから北海道千歳市の「まちライブラリー@千歳タウンプラザ」に移設した蔵書も活用します。全国各地の人が持ち寄った本が茅野市で再結集され、新たなまちライブラリーが誕生します。

最近、オンラインでお話をする機会があり、静岡県沼津市や石川県小松市の方と対談しました。沼津市では、焼津市のまちライブラリー「みんなの図書館さんかく」の土肥潤也さんと連携して信用金庫に本棚貸しをするタイプの私設図書館が誕生しており、その本棚オーナーの方にまちライブラリーのお話をしました。また、小松市では児童書や映画づくりで活躍されている山元加津子さんと対談し、地元で未来型の図書館づくりをしようという意欲溢れる市民の方とお話することができました。それぞれテーマに違いはあるものの地域の公共空間づくりを皆さんの力で協働し、つくり上げようという点では共通していました。

まちライブラリーをはじめ11年の歳月が経ち、いつのまにか900カ所を越えるライブラリーが誕生しましたが、その存在が各地で、地域の「公共の場」を自らの手でつくりたいという機運につながっていることを感じさせられる機会でした。

「公共」というと、日本では役所が担当するイメージですが、それだけではないことはこれまでもお伝えしてきました。

公共に似たものを指す言葉に「コモンズ」があります。あまり聞きなれない言葉ですが、我々の生活に密着していたものを指す言葉です。例えば、里山は集落にとって薪や柴刈りをする場であり、キノコや野草を採取する場にもなり、生活を支える場でした。水道がない時代の共同の井戸もその一つであったといえるでしょう。これらは、役所が所有して管理しているわけではなく、集落や生活エリアをとともにする人たちが、共同して世話をする場でした。私はそれが「コモンズ」と呼ばれるものだと思っています。

しかしながら現代生活では、このような場はどんどんなくなっており、「公共」と「私有」の境界線がはっきりしてきました。例えばエネルギーも共同で管理しているという意識より、特定の会社や行政が提供するのが当たり前になっています。

私は、まちライブラリーは現代社会における「コモンズ」と言えるのではないかと考えています。みんなの共有財産であり、共有している意識が芽生えれば芽生えるほど、私たちの生活に密着した「コモンズ」になっていくのではないかと

思うのです。それはまた、まちライブラリーが公共図書館と違った味わいを作り出している一因ともいえるでしょう。

まちライブラリーを「コモンズ」にするためには、おまじないが必要かもしれません。特定の人や団体ではなく、誰もが主役になれるためのおまじないです。「気負わず、淡々と、芯をしっかり持って柔軟に対応する」そんな個々の人が集まり、お互いを認め合う寛容な気持ちが必要です。茅野市の事例は、それを始める第一歩だと思います。一人ひとりが協働しながら、その場が「コモンズ」になるかどうかの挑戦です。

この春から始まる「ワークラボ八ヶ岳」でのまちライブラリーの取り組みは、個々の人が主役になれる場でありたいという我々の決意を新たに作る機会となることでしょう。春の訪れと共に新たな動きを楽しみたいと思っています。

2022年3月

まちライブラリー提唱者 磯井純亮  
 連絡先 mail : MSJ00657@nifty.com